

2019年をふりかえり2020年に向かって・・・・・・

今年は台風の多い年でした。それも威力も風も波も半端ではない状況で、去ってからの後始末にとても時間がかかり被害も多い状況でした。我々の密封されているはずの茅ヶ崎ベースの中も扉や鉄骨の隙間からの吹込みでベース内部も雨水や砂が入り、はき出す状態でした。特に台風19号では、我々の茅ヶ崎ベースをはじめ、多くの注意書き看板、新設された防砂柵、サイクリングロードも甚大な被害に見舞われてしまいました。それに伴いイベント予定も台風のためにいくつか中止になり、またいくつかは延期になるなど、予定も大きくかわり、そのため人のやりくりにも大変苦労しました。自然も結構影響がありました。あまり夏には吹かない北風の影響で海上へ出ているクラフト関係の利用者が岸へ戻れなくなるなど出動要請もいつもより多く感じました。しかし最大の問題は我々のクラブもメンバーは多いのですが現場でのボランティアに出てきてくれるメンバーや今まで出てきてくれていたメンバーの出席数が減るなど、ある一部のメンバーに負担がかかってきているここ数年の状況を改善できず何よりも悩み事となってしまっていることです。家庭・仕事・育児それに伴うストレス等、だんだん茅ヶ崎も人ごとのようになってしまうのでしょうか、とてもこの先不安があります。「社会貢献をしながら楽しむ」「楽しみながらボランティア活動を行う」理想と現実がだんだん離れていくような気がします。もちろん1人でも2人でもボランティア活動はできますが、何かが起こっても「後ろを振り返ると頼もしい仲間がいる」そんな茅ヶ崎が継続できるよう努力していかなければならないと毎年思い続けています。

「ONE FOR ALL」・「ALL FOR ONE」の精神を皆で培っていきたいと思います。

そして「守りの体制」が続くのではなく「攻めの体制」で活動を続けたいと思います。

来年オリンピックの関係で茅ヶ崎の海もどんな影響があるのか見当が付きませんが、もうすでに浜降り祭が6月14日になるなどこれもその影響なのか、これに伴い茅ヶ崎のOWS2020の大会も必然的にこの日になるなど、いろいろなイベントが前倒しになっていくのではないかと、あまり日程が集中してしまうとメンバーもなかなか都合がつけられなくなる状況もあります。各海の関連団体、公官庁との連絡を密に行い一年間をクリアしていかなければならない年に2020年はなりそうです。

2020年も各行政様、民間企業様、個人協力者様に支援をいただいていることへの感謝の気持ちを忘れず皆で力を合わせ活動を続けていきたいと思います

以 上



サーフ90茅ヶ崎ライフセービングクラブ  
代 表 小川 恵一郎